

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	九州大学	整理番号	H - 1
拠点のプログラム名称	循環型住空間システムの構築		
中核となる専攻等名	人間環境学府空間システム専攻		
事業推進担当者	(リダー) 松藤 泰典 外21名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本プログラムでは、建築単体からその有機的集合体である地域社会に亘る住空間を対象とする。豊かさを維持・向上させながら、エネルギー消費を抑制して環境負荷の低減を可能にする持続可能な住空間創造のための方法論を、これまでの実績を基に、「循環型住空間システム」として構築し、循環型経済社会の実現に寄与することを目的とする。システムの最適解を決定するためにはその上位概念として統一的な評価戦略が必要である。本プログラムでは、生活の豊かさ(W)と環境負荷(D)の差、即ちスループット(T)を最大化する方程式をシステム評価の基礎方程式としているところに特色がある。W及びDの異なる尺度を統一的尺度に変換して、理論的且つ客観的な総合的評価の手法を開発する。その評価戦略は住空間の設計から再生までのライフサイクル全体にわたる活動を統括する指標となる。本プログラムの成果は循環建築学として体系化され、それをもって次世代の循環型住空間システム研究・教育の担い手を養成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>大学としての支援体制、研究分野の横断的な構想と研究実施計画が整っており、国際交流による若手研究者育成計画も大勢ができている。計画は、環境負荷を減少し、豊かで循環的な住空間を実現することを目的としている。異種材料を分離した新しい建築構造を前提に、理論と実験の両面から循環建築学の体系化を図るもので、世界的に見てもユニークかつ高い水準にあり、国際的な研究拠点を推進するポテンシャルは高いと認められる。</p>			